

## 寄り添い重視型

## オンライン

×

## 人工透析予防

## 重症化予防

## プログラム

### 人工透析が必要のない、社会を作りたい

国内の人工透析患者は、この30年で4倍にも増加し33万人を超えています。

人工透析とは、体外で血液ろ過を行なう医療行為で、患者は1日4時間週に3日病院に拘束され、QOLが大きく低下します。

また、その年間医療費は500万円/人と非常に高額で、日本の医療費増加の一因になっています。人工透析は、患者にも国にも大きな課題となっています。

### CKD患者に管理栄養士が寄り添い、伴走

人工透析を食い止めるためには、その前段階の慢性腎臓病(CKD)の進行速度を緩やかにする必要があります。そのために必要なのが、厳格な食事管理です。

1人ではなかなかできない食事管理を、管理栄養士がオンラインで毎日、寄り添い、伴走します。

### 3つの特徴

#### 専属管理栄養士を自分で選択



※イメージ

管理栄養士を選択することで、モチベーション維持に繋がります。管理栄養士とのコミュニケーションが目的となり、行動変容を促進します。

#### オンラインによる高頻度な徹底サポート



※Pocの状況

LINEとZoomを用いたオンラインによる高頻度介入を行ないます。データに基づく食事管理を、毎日サポートします。

#### 摂取食塩量で生活習慣をモニタリング



※モック

伴走期間終了後、培った生活習慣が維持できているか追跡するために、尿から摂取食塩量を測定できるIoT機器を開発中。(特許出願中)

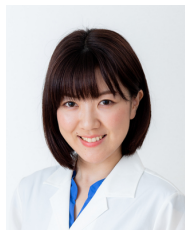
### 学術的なエビデンスを織り込み 楽しみながら行動変容

生活習慣を変えるためには、学術的な手法に則って行なう必要があります。

弊社のプログラムは、行動変容ステージモデルを応用した設計を行い、日々の食事写真を自分で撮影して報告するという認知行動療法を組み合わせています。また、行動変容を促すために、行動経済学的手法を織り込み、楽しみながら生活習慣を改善いただきます。

#### 若子みな美 代表取締役/管理栄養士

病院で栄養指導してくる中で、食事制限が厳しく、行動変容が難しいのがCKDの方でした。独立し、健康増進に向けたポピュレーションアプローチを行ってきましたが、本当に介入が必要な方に届かないという課題がありました。医療経済学の観点から人工透析医療費が国家財政に与える影響の大きさを学び、現場の課題と、ポピュレーションアプローチの限界、医療経済の課題の交点により、本事業の立ち上げに至ります。



### 食をより簡単に、そして世界を健康に



企業名 株式会社ORANGE kitchen  
ホームページ <https://orangekitchen.co.jp>  
問い合わせ先 [info@orangekitchen.co.jp](mailto:info@orangekitchen.co.jp)